

【中学生議会 部長答弁様式2】

質問区分	中学生議会	議員名	河野真歩 議員
発言順(通し番号)	NO:16	所管課・室名	長寿社会課

質問事項	虐待、少子化、高齢化問題等市民が学ぶ機会を作って欲しい。
------	------------------------------

【部長答弁】

河野（この）議員のご質問にお答えいたします。

議員のご提言のとおり、市が抱えている課題や問題点を地域の方々が学び、考える機会が増えることは、課題解決につながる効果的な手段の一つであると考えます。

福祉部が抱えている課題は、議員ご指摘のとおり、高齢者や児童に対する虐待防止、少子高齢化対策などがあります。

虐待防止ネットワークの構築や保育園の施設整備等課題の解決に向けて様々な施策を展開しているところであります。

また、地域の方々が学び、考える機会の施策としては現在、「出前講座」という事業があります。

この事業は、安曇野市に居住、通勤、通学している10人以上で構成される団体やグループからの申し込みがあれば、市役所職員が指定された会場に出向き、市の施策や制度をわかりやすく説明をさせていただくという事業です。

出前講座には福祉や医療、教育、観光、農業をはじめ様々なメニューが用意されております。

地域や、グループ、公民館活動、学校の授業などでこの事業をご利用することによって、市政に対する関心を高めていただき、市が抱えている課題や問題点を知るきっかけとなっただけであればと思います。

出前講座の制度は、市のホームページにも掲載をされておりますが、もっと市民の皆さまに広く知っていただけるように、広報紙への掲載や、区長会、民生員会などの折にも積極的にピーアールをしてまいりたいと考えております。

【中学生議会 部長答弁様式2】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	二木悠美子議員
発言順(通し番号)	NO:17	所 管 課 ・ 室 名	長寿社会課

質 問 事 項	児童虐待への取り組みについて
---------	----------------

【部長答弁】

続いて、二木（ふたつぎ）議員のご質問にお答えします。

児童虐待への対策として、家族みんなでいけるイベントや地区行事の実施をご提案いただきました。

議員ご指摘のとおり、児童虐待に陥る原因は様々なありますが、共通して言えることは、保護者に子どもに対する愛情がないのではなく、養育力の低さに原因があるということです。

養育力が低い原因も様々なことが考えられますが、虐待を防ぐには、保護者への支援が必要で、それには心配がある親御さんを孤立させることがないようにすることが大切です。心配な子どもや保護者がいた場合は、近所の人声がかけたり、話を聞くということができる地域としていくことが必要です。

現在、各地域の公民館や青少年育成会では、いろいろな文化行事やスポーツ行事、またお楽しみ会など工夫を凝らして開催をしております。それぞれの役員さんは、苦勞をされて地域のイベントに大勢参加いただく努力をしておりますが、従来のやり方ではなかなか人が集まらないという実情があります。

このような行事は、もともと行事を楽しむ、体力をつけるという目的の他に、行事を通じて近所どうしの顔を覚え、地域のつながりをつくるという目的もあったはずで。

したがって、地域の絆を深める、つながりを強めるというこのような行事の目的をお互いがもう一度認識し、大人だけ、子どもだけの行事ではなく、その中に地域の皆さんが一緒に入って楽しむという工夫があればよいのではないかと考えます。

そのような行事としていくには、大人の方に理解していただき、バイタリティあふれる中学生が地域の行事を提案し、参加し、小学生や幼児、

大人もまじえた楽しい行事を工夫して実施していくことも考えていただければありがたいと考えます。私たち行政は、そのような地域をつくっていくために必要な役割を一緒に考え、実施をしていく所存です。

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	小澤美祐議員
発言順(通し番号)	NO:18	所 管 課 ・ 室 名	子ども支援課

質 問 事 項	子育て支援への取り組みについて
---------	-----------------

【部長答弁】

続いて、小澤（おざわ）議員のご質問にお答えします。

児童虐待やDV防止対策として、親同士のふれあいのできる公園などの整備についてご提案いただきました。

先程答弁いたしましたとおり、児童虐待やDVに陥る要因の一つとして、子育てや育児について、だれにも相談ができず、一人で悩みを抱え、結果的に子どもや、家族に対して暴力としてあらわれることもあります。

その解決策の一つとして、市内の児童館などの施設を利用して、子育て相談や、乳幼児親子を対象とした事業を実施しています。また、子ども支援課に家庭児童相談室を設置して、さまざまな相談を受け、必要に応じ行政的な支援を行い、安心して子育てができるよう、対応しております。

議員からご提案のありました、親同士のふれあいができる、安曇野の自然を生かした公園の整備も、親同士が互いに相談し合え、子育てに関する悩みを共感できる場所として、有効な施設であると考えています。

公園の整備につきましては、都市建設部において計画的に実施しておりますが、現在市内には、37か所の「街区公園」と4か所の「近隣公園」、2か所の「地区公園」、1か所の「総合公園」と、全部で44か所の『都市公園』が設置されております。

この他、「農村公園」や各地域の公民館や空き地を利用した「小規模公園」などがあり、都市計画課において一元管理をしています。

市では、整備後30年以上経過している公園が、全体の約3割であることから、現在ある公園が快適で安全に利用できるように事業を推進していくため「安曇野市公園施設長寿命化計画」を策定しました。

その計画の中で、老朽化している公園施設の計画的な維持補修と更新や、園路やトイレのバリアフリー化、幼児用遊具の設置を行うことによ

り、幼児や子育て中の親が快適に利用できる公園にして行きたいと考えております

公園の新設につきましては、今年度から2年をかけて策定する「緑の基本計画」で、都市公園の適正な数や配置について調査を行い、新たな都市公園の整備が必要かどうか検証する予定です。

今後も、利用者の皆様に親しまれ、子育て中の親子など、多くの皆様に利用される公園や児童福祉施設の整備を進めるほか、相談事業をはじめとする、各種子育て支援サービスの充実を図って行きたいと考えております。

【中学生議会 部長答弁様式2】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	横川 伊吹 議員
発言順(通し番号)	NO:19	所 管 課 ・ 室 名	健康推進課

質 問 事 項	高齢化社会に向けて
---------	-----------

【部長答弁】

続いて、横川議員のご質問にお答えします。

さきほど市長からの答弁にもありましたとおり、安曇野市はこれからさらに進む高齢化に向けて、財政的な伸びを抑え、健康を守り、高齢期になってもいきいき生活できる事をめざしていく必要があります。

そのための健康づくりは、年をとってからではなく、若いころから自分の体を知って、生活習慣病などの病気の予防や介護予防に取り組んでいくほうが、より効果的です。

生活習慣病による重症化を防ぐためには、まずは健診を受けて自分を知っていただくことが重要ですし、がんの早期発見のためにも検診は大切です。

できるだけ健診を受けていただけるよう、市民の皆様に個別通知や電話をしたり新聞や広報あづみのなどで周知を行っていますが、まだまだ目標には達していません。

横川議員からご提案いただきました、周囲にいる方からの声かけは、検診受診だけでなく、高齢者にとっては見守りや地域でのつながりを深めていく意味でも大切だと思いますので、今後も推進していきたいと考えます。

また、高齢者の皆様が、地域や仲間の皆様とともに活動したり、通いの場を持つことは、介護予防だけでなく健康づくり、そして生きがいづ

くりにもつながります。

現在市でも、介護予防のための様々な教室や講座等を開催し高齢者の皆様にご参加いただいています。

また地域には、市民の皆様主体の体操教室や趣味の会・交流の場など多くの通いの場があり、活発な活動が展開されています。中には健康遊具やトレーニングマシンを活用する場もありますが、その場合、参加する方の状況に合わせ、正しい活用方法で安全に実施することが重要と考えます。

今後は、議員からご提案いただいた内容も含め、高齢者の皆様が気軽に利用したり参加できる様々な介護予防の取り組みを検討してまいります。

市民の皆様一人ひとりが主役ではありますが、地域や関係機関と一体となって、健康長寿のまちづくりを目指していきたいと思います。

ご提案ありがとうございました。

【中学生議会 部長答弁様式2】

質問区分	中学生議会	議員名	曾根原 怜 議員
発言順(通し番号)	NO:20	所管課・室名	健康推進課

質問事項	安曇野市の健康について
------	-------------

【部長答弁】

続きまして、曾根原議員のご質問にお答えします。

安曇野市の死亡の状況をみてみますと、がんが第1位で、次に心疾患、脳血管疾患と続いています。他の市町村との比較で見ると、脳血管疾患による死亡割合が高くなっていますので、市では、脳血管疾患は解決すべき課題と考えています。

市の40歳～74歳の国民健康保険に加入されている方の、生活習慣病で医療機関にかかっている状況は、脳血管疾患、虚血性心疾患等、重症な病気での受診が高くなっています。

生活習慣病の発症を予防したり、重症化を予防するために、平成20年から実施している特定健診、特定保健指導があります。

健診を受けていただき、その結果をみて、医療機関を受診したり、自ら生活習慣を改善する行動に取り組んでいただけるように、保健師、管理栄養士等の専門職がお話しをしています。

曾根原議員からご提案がありましたように、健康を守るための意識が高まるようなアドバイスができるよう、さらに指導力の向上に努めてまいります。

なお、生活習慣病の発症予防、重症化予防には、若いころからの生活習慣の影響がありますので、母子保健事業のほか、保育園、学校等様々な機関と連携して啓発等の取り組みを行っていく予定です。

また、がんは、早期発見、早期治療が大切です。受診率の向上を目的として、対象者を絞って受診勧奨をするとともに、議員からお話があったように受診しやすい環境をつくるために、検診によっては一部施設検診をとりいれることにより、受診者が医療機関を選択できるようにしています。なお、子宮頸がん検診は施設検診となっています。

検診の必要性については、あらゆる機会を通じて周知し、一人でも多くの方が検診を受けてみようと思えるように働きかけを行い、市民の皆様一人ひとりが「自らの健康は、自らが守る」取り組みを推進していきたいと考えます。

ご提案ありがとうございました。